

# 家庭訪問で子育て支援

子育てとは、楽しいだけでなくストレスが溜まりま  
す。養育者さんを家庭訪問し  
支援するボランティア団体の  
一つに「ホームスタート」  
([www.homestart-japan.org](http://www.homestart-japan.org/))  
があり、世界各国で  
活躍しています。私は「ホー  
ムスタート・こしがや」の運  
営委員をしています。

心身共に余裕がない養育者  
さんは、子育てサークルなど  
の大勢の人が集まるところに  
子どもたちを連れて自ら足を  
運ぶエネルギーがありません。  
このような養育者さんの  
依頼を受け、支援者が家庭訪  
問をします。

最初に養育者さんやその家  
族たちと良い関係を持つのが  
支援者の大切な仕事です。養  
育者さんのお宅に入れてもら

埼玉県立大学教授 市村 彰英

うことは、家族のお仲間に入  
れてもらう最初の一步です。  
その際、支援者が養育者さ  
んに「何を言うか」(What  
t)という言語的コミュニケーション  
ーションよりも「どのよう  
に言うか」(How)という  
非言語的コミュニケーション  
の方が大切なのです。この際  
にポジティブな第一印象(感  
じのよさ)を形成することを  
「ジョイニング」(Join



「ホームスタート」  
での家庭訪問の様子

## 「ホームスタート」でストレス解消

ing)と言います。  
メラビアンという心理学者  
は、聴き手側が話し手側の印  
象を決める要素として「言語  
的要素(7%)」よりも聴覚  
情報と視覚情報である「非言  
語的要素(93%)」(話し方  
38%、態度55%)が重要な鍵  
を握っていると提唱していま  
す。支援者は養育者さんやそ  
の家族たちの問題を探すので  
はなく、現在できていること  
を語ってもらい、支持する(褒  
める)ことで、これから先の  
子育て支援をしていくための  
良好な関係を築いていきます。

家庭訪問は原則4回を約束  
します。養育者さんの認識や  
行動や家族関係などの変化は  
支援者たちの訪問と訪問の間  
に起きます。その変化は少し  
ずつ広がっていきます。この  
現象を解決志向心理療法では  
「小さな変化とさざなみ効  
果」と呼んでいます。

次に訪問したときには、そ  
の間の話を聴かせてもらいま  
す。おそらく今までに見られ  
なかつたいろいろな小さな変  
化が見えてくるでしょう。

県立大発!  
健康  
情報



<18>